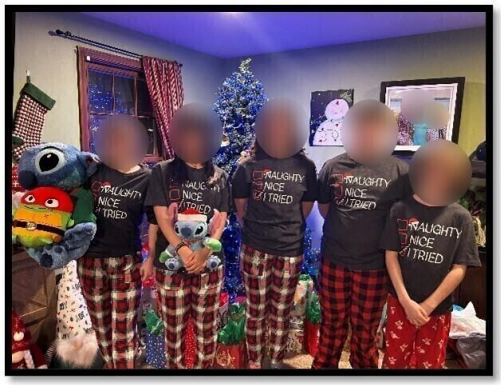
＜留学報告書　５回目＞

4 年 S.T

12 月に入り、インディアナ州でも雪が降ることが多くなりました。この一か月は、周りどこに行ってもクリスマスの飾りや歌ばっかりでした。12 月に入って少しした頃に、毎日一限目に取っているウクレレのクラスの発表会として、学校の放課後にあったクリスマスプログラムでウクレレを演奏しました。同じクラスをとっている人が私を含めて５人しかいないので、後ろにいる方たちにも届くように頑張って演奏しました。ホストファミリーや友達が見に来てくれて、とても嬉しかったです。

一学期が終わる最後の週は、finals week と言って、日本でいう期末テストのような一週間でした。しかし、毎日クリスマステーマがあり、それに合わせて生徒も先生も仮装をするという一週間でもありました。また、期末テストのようなものといっても、実際にはテストではなくプロジェクトを課題にする授業もいくつかあり、日本との違いを感じました。一つの例としては、起業の授業をとっているのですが、自分でフードトラックビジネスを立てようというプロジェクトでした。自分で一から売る食べ物を決め、値段、ロゴ、メニュー、対象としている顧客に届くようにどうしたらいいのだろうというような現実的なプランを立てて、最後の授業に一人一人プレゼンテーションをして成績が決まるという感じでした。当日はそれぞれがフードトラックで売る食べ物を持ってきてみんなに配って食べるということもしました。最終日の金曜日は授業がなく、皆で朝食を食べて映画を見たり、学年対抗でゲームをしたり、友達と時間を過ごせる一日でした。

冬休みに入ってからはクリスマスプレゼントをたくさんもらいました。私のファミリーの場合は、母方の祖父母と、自分の家族と、父方の祖父母で３回クリスマスがありました。私は絵を描くのが趣味なので、スケッチブックやマーカー、色鉛筆などをもらい、ほかにもジュエリーや冬の防寒着、ぬいぐるみなどもたくさんもらいました。年上のホストシスターは今年で成人し、12 月 25 日が誕生日でもあったので、誕生日プレゼントとして車をプレゼントしてもらっていました。

教会でもクリスマスの行事が何個かありました。高校生たちでクリスマスプレゼントを交換したりもしました。留学当初は教会に行くことにあまり気が進まなかったのですが、今は友達もたくさんできて、楽しい場所の一つとなっています。私の誕生日は 12 月なのですが、友達たちがサプライズでお祝いをしてくれて、とても嬉しかったです。ケーキが嫌いなのを知っていたので私が好きなチョコレートチップクッキーを箱買いして、クッキー生地のケーキも用意してくれました。自分の人生の中で一生忘れられない瞬間でした。